

特別企画展 生誕120年記念

# モダニスト

# 福田豊四郎

# 秋田を描く

The 120th Anniversary of Birth  
Fukuda Toyoshiro, a modernist depicting Akita: The artist cherished by Tsuchida Bakusen



土田麦僊に  
愛された  
日本画家



2024 10/9 水

11/24 日

開館時間: 9:30~17:00 (入館は16:30まで)  
休館日: 月曜日 (祝休日の場合は翌平日休館)

京都府立 堂本印象美術館

KYOTO PREFECTURAL INSHO-DOMOTO MUSEUM OF FINE ARTS

主催: 京都府、京都府立堂本印象美術館 (指定管理者 (公財) 京都文化財団)、京都新聞 特別協力: 秋田県立近代美術館 助成: (一財) 地域創造 福田豊四郎《五月山湯》1933年 秋田県立近代美術館蔵



京都時代の集大成 福田豊四郎《雪の一日》(部分)1928年 秋田県立近代美術館蔵 (京都市立絵画専門学校卒業制作)



故郷十和田湖へのロマン 福田豊四郎《故郷十和田湖へのロマン》1926年 東京国立近代美術館蔵



自然と人物の融合に挑む 福田豊四郎《早苗曇り》1930年 秋田県立近代美術館蔵

福田豊四郎(一九〇四〜一九七〇)は郷里秋田の風景を詩情豊かに描きながら、一方で日本画の革新を目指したモダニストという面を持ちます。豊四郎ははじめ京都で洋画を学んだ後、東京の川端龍子と京都の土田麦傳に師事して日本画家となります。一九二八年に活動拠点を東京へ遷してからは、龍子の青龍社に所属して意欲作を発表しますが、一九三三年に脱退し、その後、吉岡堅二とともに西洋絵画の手法などを取り入れた新しい感覚の日本画を追求して前衛的な活動を推し進めていきます。一九四八年の創造美術のちの創画会旗揚げの際にはその先頭に立ち、戦後の日本画を牽引しました。本展では、豊四郎が生涯にわたり愛した秋田に題材を求めた作品を中心に、初期から晩年までの代表作を一堂に紹介し、豊四郎芸術の魅力に迫ります。

京都では初の回顧展です。

Fukuda Toyoshiro (1904-1970) was a Nihonga (Japanese style painting) artist who was active during the period from the last part of Taisho era to the Showa era. While he paints simple scenery of his hometown with rich poetic taste, Toyoshiro has a side as a well-known modernist who innovated new style of Nihonga artist scene. The exhibition will unravel the artist's legacies from his early to late period.

秋田を描く

福田豊四郎

モダニスト



メルヘンの世界へいざなう 福田豊四郎《樹水》1937年 秋田県立近代美術館蔵



波と雲の詩を描く 福田豊四郎《瀟》1938年 秋田県立近代美術館蔵



穏やかな晩年の境地 福田豊四郎《雪国》1968年 秋田県立近代美術館蔵

師、土田麦傳と川端龍子との交流も紹介(初公開の書簡資料あり)



土田麦傳《朝顔》1934年 智徳院蔵

その他イベントを予定しています。詳細は当館HPをご確認ください。

第6回野外いけばな展  
—京都新世代いけばな展関連事業—  
本展覧会にあわせて、京都の華道界の次代を担う若手華道家によるいけばな展を開催。  
11月2日(土)〜4日(月・振休)  
※2日午前は生け込みの様子をご覧ください。  
その他イベントを予定しています。詳細は当館HPをご確認ください。

野外イベント(美術館庭園、参加無料)

日時 10月19日(土)、11月9日(土) 14時〜  
会場 美術館2階展示室

ギャラリートーク  
10月19日(土)、11月9日(土) 14時〜  
美術館2階展示室

参加費 510円(本展観覧券1枚付き)  
問い合わせ 京都新聞COM事業推進局開発推進部  
(TEL075-255-9757、平日10時〜17時)

会場 京都新聞文化ホール  
(京都市中央区烏丸通夷川上ル 京都新聞ビル7階)

出演 林屋祐子(京都新聞社メディア局)

日時 10月16日(水) 10時30分〜11時30分

出演 松尾敦子(当館主任学芸員)

会場 京都新聞文化ホール

参加費 無料(本展観覧券または65歳以上の公的証明が必要)

定員 先着150名(当日12時30分より)

会場 立命館大学 末川記念会館講義室

聞き手 林屋祐子(京都新聞社メディア局)

会場 立命館大学 末川記念会館講義室

定員 先着150名(当日12時30分より)

会場 美術館ロビーにて整理券を配布します)

参加費 無料(本展観覧券または65歳以上の公的証明が必要)

定員 先着150名(当日12時30分より)

会場 立命館大学 末川記念会館講義室

聞き手 林屋祐子(京都新聞社メディア局)

観覧料

一般510(400)円、高大生400(320)円、小中生200(160)円

※( )は20名以上の団体料金 ※65歳以上の方(要公的証明書)および障害者手帳をご提示の方(介護者1名含む)は無料

相互割引(近隣美術館)

本展観覧券(半券可)提示で「生誕140年記念 石崎光瑠」展(9月14日〜11月10日、京都文化博物館)・「巨匠たちの学び舎 日本画の名作はこうして生まれた」展(10月11日〜12月22日、京都市京セラ美術館)の当日券を100円割引で購入いただけます。※1枚につきお一人様1回限り有効、他割引との併用不可、当日券売所での購入のみ対象。 ※休館日、開館時間等の詳細は各館のHPをご確認ください。

京都府立 京女印象美術館

KYOTO PREFECTURAL INSHO-DOMOTO MUSEUM OF FINE ARTS

〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3 Tel.075-463-0007  
https://insho-domoto.com

交通のご案内  
●JR円町駅より市バス⑩、快速立命館、JRバス(立命館大学経由)  
●JR京都駅より市バス⑩、快速立命館、JRバス(立命館大学経由)  
●京阪電車三条駅より市バス⑩、⑪、⑫、⑬ ※いずれも立命館大学前下車  
案内 駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。  
内 お車の方は近隣のコインパーキングをご利用ください。

展覧会、関連イベント情報など随時更新 X @DOMOTO\_insho @domoto\_insho

西から

文化 POWER OF CULTURE

